

経営比較分析表（令和5年度決算）

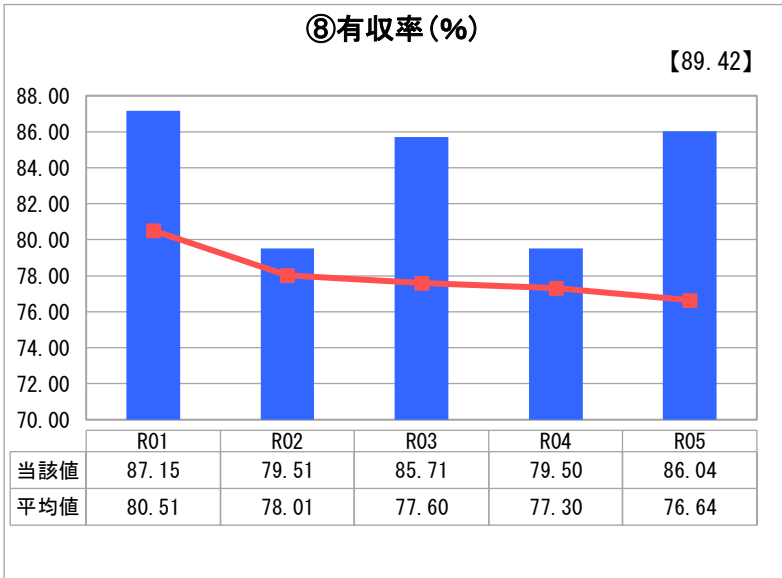
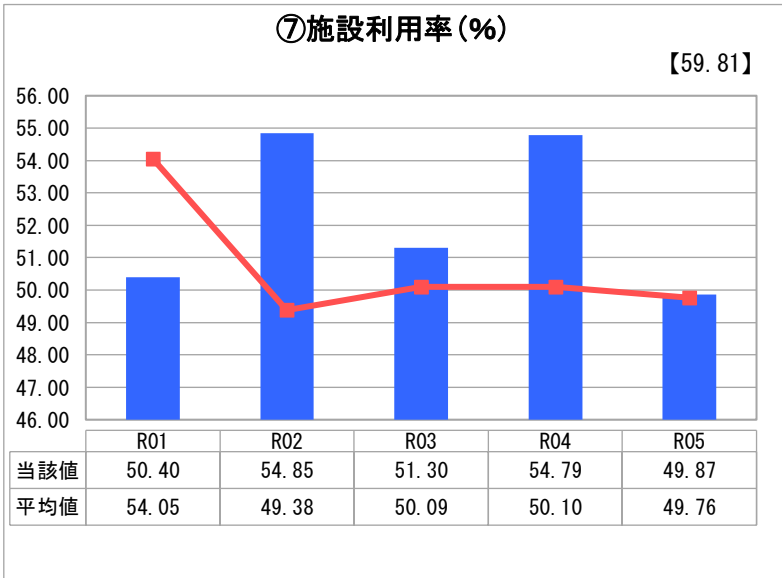
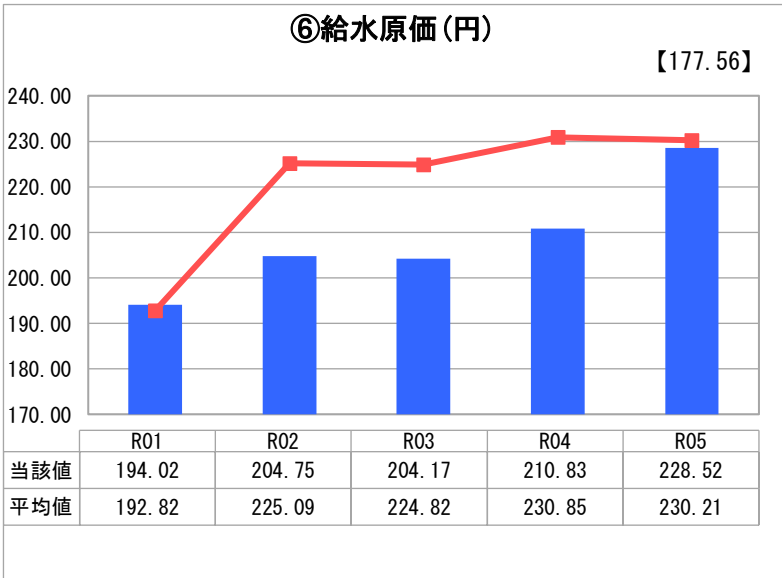
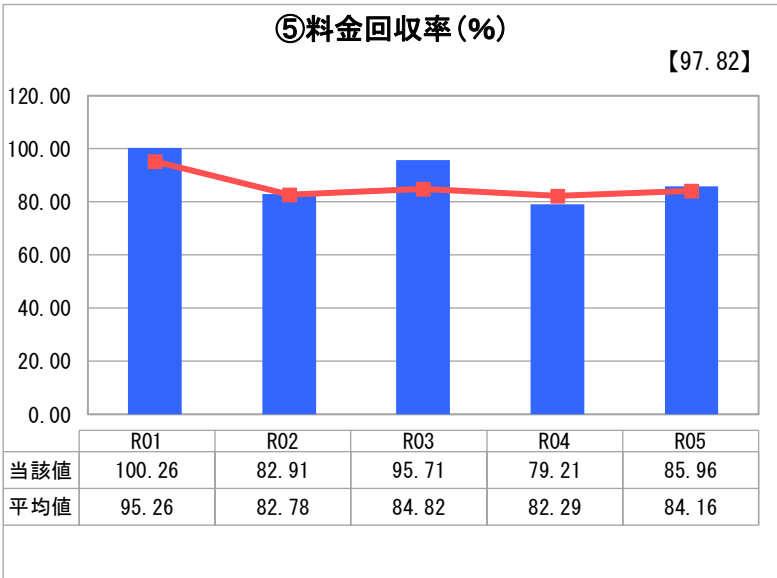
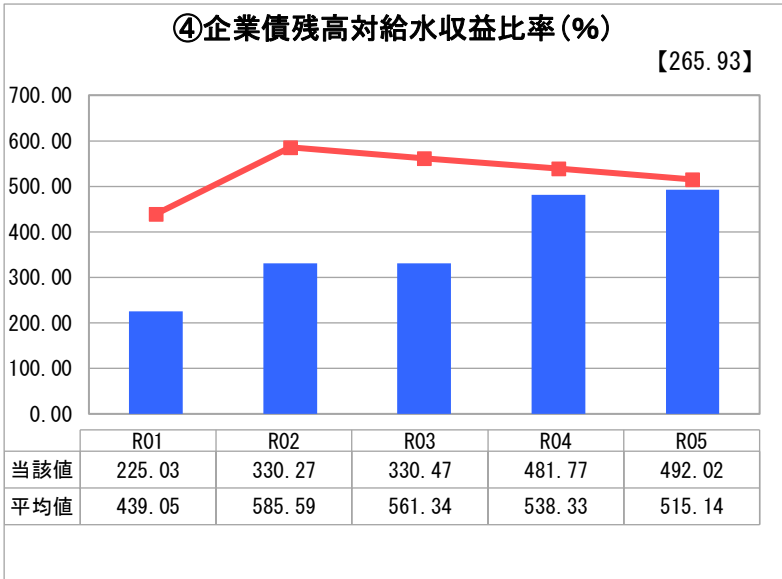
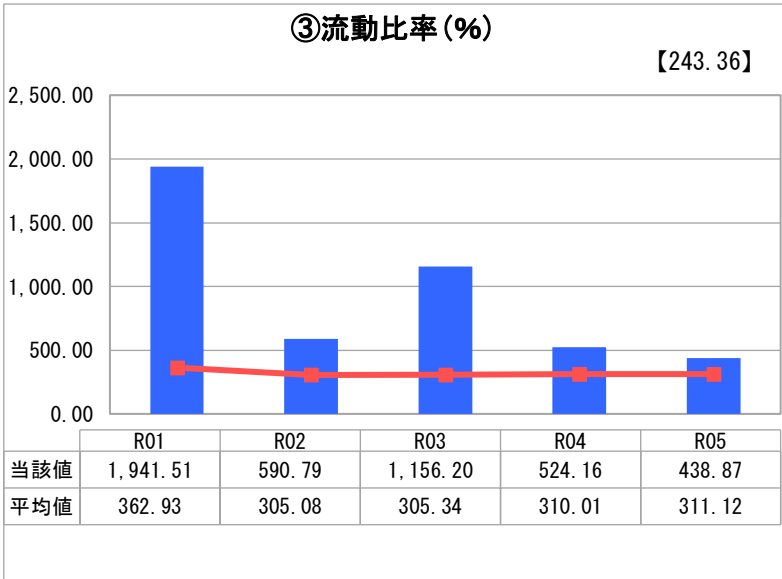
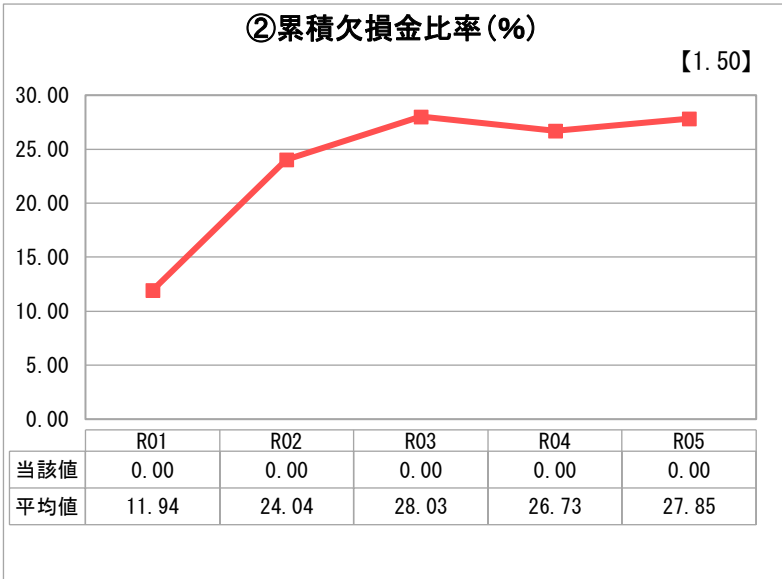
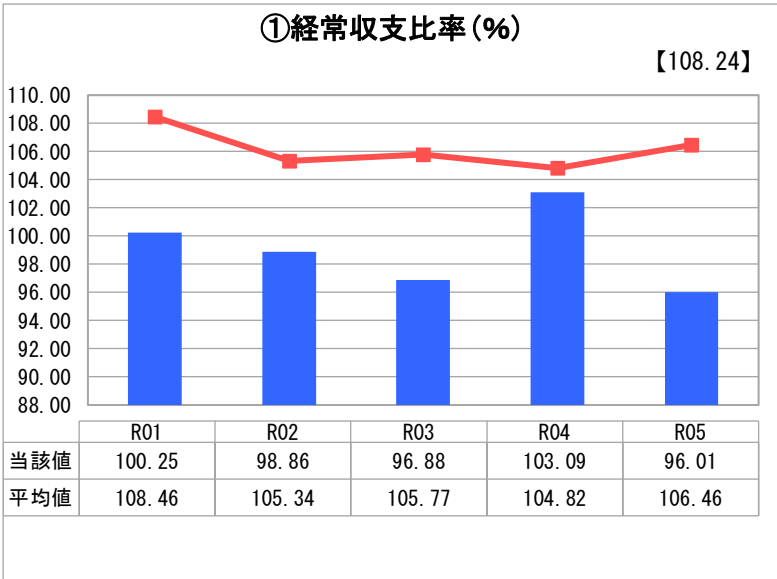
岐阜県 川辺町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	64.28	98.72	4,020	

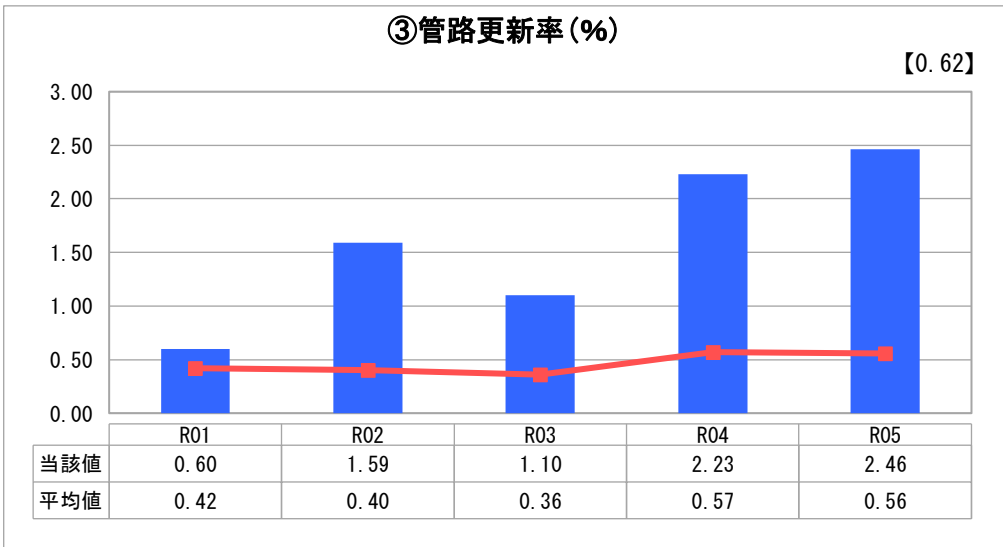
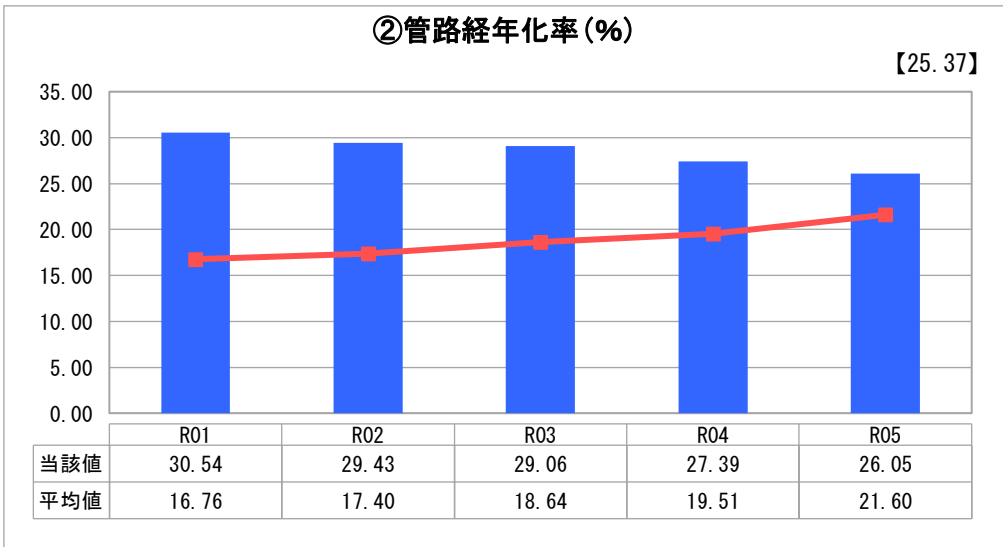
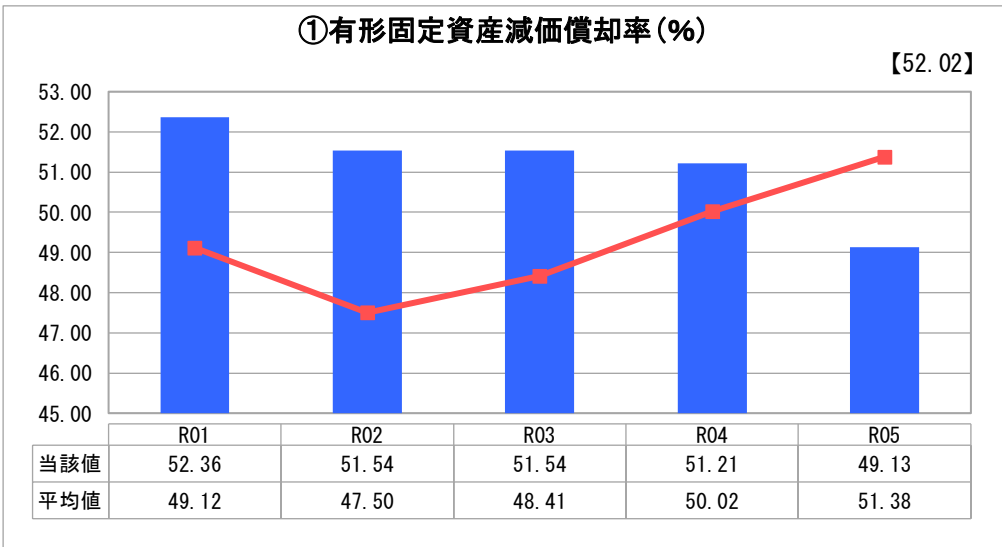
人口（人）	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,843	41.16	239.14
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
9,681	8.19	1,182.05

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

①令和4年度より一般会計から人件費補助を受け入れたことにより指標の改善が見られたが、令和5年度は動力費や委託費、漏水等による営業費用の増加などにより再び収支は赤字となっている。今後も施設の老朽化による修繕費の増加など費用の増加が懸念される中、経費の削減には限界があり、根本的な経営改善が求められる。

②平成26年度の新会計基準による、みなし償却制度の廃止により、固定資産を見直したところ、累積欠損金は解消されたが、経年により維持管理費が増加傾向にある。

③類似団体より高い数値であり、100%を上回っているが、流動資産、流動負債の動向には今後も注意が必要である。

④現状は類似団体より低い数値であるが、水道管路耐震化事業などにより企業債の借入が増加しており、今後は比率が増加する見込みである。

⑤施設の老朽化に伴う漏水事故が多発しており、修繕費や受水費の増加、電気代高騰による動力費の増加により、100%を下回っている。計画的な修繕等により漏水事故等を減少させ、料金回収率の向上に努めなければならない。

⑥類似団体平均を下回るものの、近年の増加傾向によりその差は縮小している。今後においても施設の老朽化による維持管理に係る費用の増加に伴い増加が見込まれる

⑦類似団体より高い数値ではあるが、人口減少等により施設利用率の低下が見込まれる。

⑧令和2年度と4年度に配水本管からの漏水により有収率が大きく低下した。現在は類似団体の平均を上回る有収率となっている。今後も漏水調査等の実施により、更なる有収率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

①老朽施設の更新により減少傾向にある。今後も水道管路等の更新を計画しており、減少する見込みである。

②類似団体と比較しても高い数値である。今後も耐用年数を経過した管路は増加するものの、管路の更新も実施していくため、ほぼ横ばいの状態が継続されることが考えられる。

③近年漏水が多発していることもあり、老朽管路の更新を実施している。今後は、管路更新は必要であるものの、限られた財源と人材のなかで、耐震化事業と調整し順次進めていく計画である。

全体総括

平成28年度より重要給水施設への耐震管布設替事業に着手している。また、耐用年数を経過した老朽管路の更新事業も進めており、管路更新では類似団体を大きく上回る更新率となっている。しかしながら、これら事業を継続するには多額の費用が必要で、事業の財源として新規企業債の借入により償還費の増加が加速している状況である。

人口減少等により給水収益の増加が見込めない中、水道施設の維持管理に係る費用は増加が見込まれ、厳しい財政見通しとなっている。

このような状況のなか、今後も有収率の向上や経費削減などの取組を続けるとともに、根本的な経営改善を進めていかなければならない。